

診療実態の分析（（重症）急性期と地域急性期）

追加資料④

● 急性期報告 病床数（病院）（ブロック別）

	(重症)急性期	割合※	地域急性期	欠損値	計
北	3,684	88.2%	493	177	4,354
西	2,450	84.9%	436	356	3,242
東	2,641	71.5%	1,054	393	4,088
南	1,599	61.7%	994	421	3,014
大阪市	10,374	77.7%	2,977	1,347	14,698

※（重症）急性期病床の、欠損値を除いた病床全体に対する割合

● 病床機能報告（2017年度）（ブロック別）

		高度急性期	(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等	
病床機能報告(2017)	北	1430	3684	177	574	389	1260	0	7514
	西	151	2450	356	481	665	1227	113	5443
	東	2739	2641	393	1138	970	2051	63	9995
	南	1508	1599	421	1130	782	3036	6	8482
	大阪市	5828	10374	1347	3323	2806	7574	182	31434

● 病床機能報告（2017年度）と病床数の必要量（2025年）の割合の比較（ブロック別）

		高度急性期	急性期	(重症)急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等
病床機能報告(2017)	北	19.0%		49.0%	2.4%	7.6%	5.2%	16.8%	0.0%
	西	2.8%		45.0%	6.5%	8.8%	12.2%	22.5%	2.1%
	東	27.4%		26.4%	3.9%	11.4%	9.7%	20.5%	0.6%
	南	17.8%		18.9%	5.0%	13.3%	9.2%	35.8%	0.1%
	大阪市	18.5%		33.0%	4.3%	10.6%	8.9%	24.1%	0.6%
病床数の必要量(2025)		13.7%	37.0%				30.7%	18.6%	

	地域急性期+回復期		回復期病床の必要量との差
北	12.8%	→	17.9%
西	21.1%	→	9.6%
東	21.1%	→	9.6%
南	22.5%	→	8.2%
大阪市	19.5%	→	11.2%